



とよまつ語ろう会

NO.18

1月17日発行

～リエーター者編～

さて…

「とよまつ語ろう会」とは？

2020年から1年間

- ①地域の想いを聞く
やあ やあ！
- ②テーマもって語り合う
→ テーマもって語り合う
- ③語った内容を実践改善
やあやあ → やあやあ



想いをカサにすむ会
として実施してきました。
(ちよこよんじょで開催)

2021年からリニューアル！

『出張型』

地域の会合



各種団体



高畠 桜

出張いなさい！

(※定期的にちよこよんじょで開催しようと思います)

7回目の出張先は リエーター者の本音を聞く会

へおじゃました。

今回は12月14日に開催され

ました「リエーター者の本音を聞く会」

へ参加してきました。この会は豊松

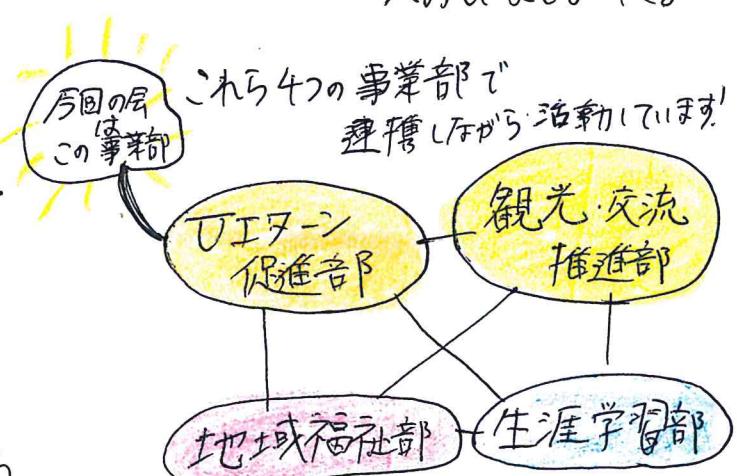
協働支援センターのむらづくり

委員会の中にある事業部の一つである

「リエーター促進部」が企画された会

です。豊松在住のリエーターの方の

想いをざくばらんに聞かせていたださ
ました！



地域の方が地域づくりを主体的に運営していく
むらづくり委員会

豊松協働
支援センター

まずはみんなで自己紹介！



ビエターンの方の想い

その後、ビエターンの方に
豊松に住んでいて困っていることや
感じていることを聞いてきました。

- ⑥ ビターンのまかりは結婚・一定年
親の介護など 様々な人生の
タイミングで決まる。
- ⑦ 奥さんが自分の地元について
てくれるかが一番の心配ごと
だった。(ここをクリアしないと
ビターンは難儀)
- ⑧ ハガデや虫の多さ、生活水が石灰水で水道器具が壊れる、など
実際に住んでみてわかることがたくさんあった。
→事前に知る機会があった。地域の方の対応策なども教えて
もらえるといい。(特に石灰水は地域差がある。未だ知りませんでした)
- ⑨ 移住するにはやはり「土事」が必要。三和の方にはけつこう求人が
あるが、周知されていなかったりする。



次の出張！ じょまつ語彙会は有木玉娘会へ
出張します。“自分の地域の会合・団体にも来てほしい！”
といつもは。 → 84-2226までご連絡
(豊松協働支援センター) ください！

などなど貴重なご意見を
たくさん聞かせていただきました。
みなさん本当にありがとうございます

ございました。😊